

つよく・やさしく・心をこめて

三勲小だより



平成29年12月22日(金)

<全校朝会の話①>

12月1回目の全校朝会では体育館で、校長の子ども頃の写真を映しながら、次のような話をしました。

おはようございます。今日は、校長先生の子ども頃の話をしましょう。これは校長先生の小学生の時の写真です。校長先生は、小学生の頃、外で遊ぶのが、とても好きでした。鬼ごっこをしたり鉄棒をしたりして休み時間はいつもお友達と外で遊んでいました。

ある朝、一人のお友達がこう言いました。「ねえ今日は花子ちゃんを入れなくて遊ぼう。」(本当は、花子ちゃんという名前ではないのですが本当の名前を言うと悪いので花子ちゃんとしておきます。)

校長先生はびっくりして、「どうして」と聞きました。そうしたらそのお友達は「花子ちゃんは足が速くてなかなか捕まらないから鬼ごっこをしても、おもしろくないから。」と言ったのです。その時、校長先生はどう言ったと思いますか。校長先生はそんなことをしたら花子ちゃんがかわいそうだなと思ったけれど、何も言えなかったのです。

休み時間になって外に出たら、花子ちゃんはいつものように近寄ってきました。でも、みんな「あっち行こう。」と言いながら何となく花子ちゃんから離れていきました。花子ちゃんの方を見ながら、くすくす笑っている人もいました。花子ちゃんは一歩ぼっちになってしまいました。

鬼ごっこを始めようとした時です。一人の友達が「私、花子ちゃんと遊ぶ!」と言って花子ちゃんの方に向け出してきました。そして二人で滑り台で遊び始めました。校長先生たちは残った人だけで鬼ごっこをしようと思いましたが、もう遊ぶ気持ちになりませんでした。

みんなが黙っていると別の友達が「やっぱりみんな一緒に遊ぼう。」と言いました。そして「花子ちゃんを入れなくて遊ぼう」と言った友達も一緒にみんなで滑り台の所に行きました。

「ごめんね。一緒に遊ぼう。」と言ったら、花子ちゃんは「いいよ。」と言ってくれましたが、いつもの元気な花子ちゃんではありませんでした。

今では花子ちゃんも他のお友達も仲よしで時々会ったりしています。でも、校長先生の心の中には何年経っても、あの時どうしてすぐに「仲間はずれはよくないよ。」と言えなかったのかなあ、どうして花子ちゃんを一人ぼっちにしてしまったのかなあという気持ちが残っています。

皆さんは「花子ちゃんを入れなくて遊ぼう」という人ですか? 「やっぱり花子ちゃんと遊ぶ!」という人ですか? それとも黙っている人ですか?

今日から三勲小学校の人権週間が始まります。人権というのは、誰でも持っている、幸せに生きる権利のことです。

人の嫌がることを言ったり、無視したり、いじめたり、物を取ったり、痛いことをしたりすると、この人権が傷つけられます。

では、黙っているのはいいのですか? そうですね、黙っているのも人を傷つけていることにちがいはありませんね。

みんな一人ひとり大切な命があって一生懸命生きています。傷つけ合うのではなく、優しくしたり、励まし合ったり、助け合ったりして生きていきましょう。そうすれば、一人よりみんなである方が楽しくて、きっと苦しいことや悲しいことも乗り越えることができることでしょう。

今日は、校長先生の子ども頃の話をしました。

<全校朝会の話②>

前の話を受けて、12月2回目は放送で、次のような話をしました。

先週、先々週は三勲小学校の人権週間でした。この前の朝会では、校長先生が子ども頃の話をしました。みんな人権集会もしましたね。人権宣言も各学級で考えることになっています。みんなが楽しく幸せに生きる権利を誰も邪魔してはいけないということも勉強しました。人の嫌なことを言ったり、無視したり嫌なことをしたりすると、された人の心は傷ついて、楽しく生きることができないということも皆さん、よく分かったと思います。

たくさんの方がお友達と仲よく過ごしていて先生たちはうれしく思っています。でも、残念なことに、三勲小学校では、まだ、友達の悪口を言ったり嫌なことをしたりしている人がいるようです。

では、ここで、皆さんに聞きます。最近、友達に嫌なことをされたり嫌なことを言われたりした人はいませんか。その人は、心の中で手を挙げてください。

さて、今、誰かが心の中で手を挙げていたとします。それは自分のしたことが原因ではありませんか。自分のせいで誰かが今手を挙げていたとしたら、自分は絶対にしてはいけないことをしていたということです。絶対にやめなくてはなりません。悲しい思いをしている人が一人でもいるなら、三勲小学校は本当にいい学校とは言えません。

今は心の中で手を挙げてもらいましたが、嫌なことがある人や嫌なことをされたり言われたりしている人を知っている人は、担任の先生や他の先生、校長先生に言ってください。一人で苦しまないでください。

一人ひとりが自分の行動をよく考え、人の嫌なことを言ったりしたりしないこと、嫌なことをされている人がいたら絶対にそのままにしないことをいつも心にとめて、仲よく助け合う、本当にいい三勲小学校を、みんなの力と優しさでつくっていきましょう。

今日はいつもとちがって、少し厳しいお話だったかもしれませんが、大切なことなのでよく覚えておいてください。



<オーストラリアとの交流会>

12月8日(金)に、三勲小学校が交流しているオーストラリアのグロスビュー小学校の校長先生と、ボロウォンゴ自然学校の校長先生が来校されました。

当日は、第1部は全校参加で、英語を交えた6年生の歓迎の言葉に続いて、いただいたカンガルーの親善大使のお返しとして、桃太郎のぬいぐるみの親善大使贈呈式を行いました。そして、オーストラリアのお話を聞いたり、ディジュリドゥという民族楽器の演奏を聴いたりしました。ほとんどの子どもはディジュリドゥの演奏を聴くのは初めてだと思います。その心に響く音色に子どもたちはすっかり魅了されたようでした。先生方からは、絵やブーメラン、素敵なカードなどたくさんのおみやげもいただきました。そして、最後にお礼の気持ちを込めて、全校で「ありがとうの花」を歌いました。

第2部では、始めに5年生の「花は咲く」の合唱を英語の歌詞をスクリーンに映しながら聴いていただきました。そして、6年生が先日能舞台で発表した能の一部分を披露し、最後になかよし学級の子どもたちが「なかよし太鼓」を演奏しました。

お二人の先生方はたいへん喜んでくださり、三勲小学校の子どもたちは素晴らしいと誉めてくださいました。

交流会の後は、校長、教頭他担当の教員とお二人の先生、市のESD推進局の方や岡山大学の先生方とともに、今後の交流についての話し合いを行いました。

このような素晴らしい機会を一層の契機として、今後も交流を更に進めていきたいと思っています。



今年もあとわずかです。保護者、地域の皆様にはこの一年間、様々な面で、学校教育にご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

新しい年も、教職員一同、力を合わせて、子どもたちのよりよい成長のために頑張っていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

寒さも厳しくなりそうです。ご自愛の上、どうぞよいお年をお迎えください。

